宮崎公立大学同窓会「凌雲なな会」会報誌

NaNaKai

Takayuki Kawase

2018
AUGUST
vol.19

あの店は今

「長谷川だんご」。長らく宮崎公立大学東門の真向かいに在ったお店だ。名前を聞くとお団子の味を思い出す同窓生も多いのではないだろうか。そんな長谷川だんごだが、実は 2016 年 12 月末に 32 年という歴史に幕を下ろし、現在はこの建物に宮崎公立大学の卒業生が運営する民間学童保育　放課後学習サポートセンター「ツクヨミ」が入っている。夫婦がつくる団子でみんなを笑顔にしてきたこの場所は今、子どもたちの笑顔であふれている。

■忘れられない学生たちの笑顔

長谷川だんごは 1984 年、渡部憲二さん (68)・満子さん (65) 夫婦が創業した。江平で 5 年間営業した後、船塚に移転。周囲に甘味処が少なかったなか、渡部さん夫婦が作る素朴な味の団子は喜ばれたという。

1993 年に宮崎公立大学が開学すると、教員や学生たちがお店に出入りするようになった。中でも印象に残っているのが、一人の女子学生とのエピソードだ。

ある年の学祭前、一人の学生が「大学祭の喫茶店で長谷川だんごをメニューに出したい」と頼みに来た。普段の営業でも手一杯だったため断ろうとしたが、彼女の勢いに負けて団子の提供を決めた。

「女の子の健気な顔に負けちゃってね。いつもより早起きして追加で何百個もの団子を作ったのはいい思い出です。あとから女の子が『おじちゃん、おばちゃん、お団子完売したよ！』と満面の笑顔でお店まで来てくれてさ。なんか嬉しかったよね」と当時を懐かしんだ。

また、2016 年の営業最終日には卒業生がお店に来て、メニューや内観、外観などを撮影。一冊のアルバムを作って、渡部さん夫妻にプレゼントしてくれた。「本当に多くの公立大生にお団子買ってもらったし、美味しいって言ってもらえたし、最後には素敵なアルバムを作ってもらえた。公立大生には一生もんの〈ご縁〉をいただきました」と渡部ご夫婦はアルバムを眺めながらうれしそうに語った。

■やりたいことに挑戦する第二の人生

閉店を決めたのは、職人として曲げられない信念があったからだった。「中途半端な気持ちでお団子作っても味に出ちゃう。作るからにはしっかり美味いものを作りたいと思っていたけど、歳をとるごとに立ち仕事がきつくなって。お客さんにとって美味い団子屋のまま終わるのが一番」。そう考えて 2016 年 12 月末、のれんを下ろした。

その後も常連客から「お団子ください」って問い合わせがくるが、もうお店に立つことはないときっぱり。「お団子をずっと作ってきたから、これからは 32 年間“出来なかったこと”、“やりたかったこと”に、2 人でどんどん挑戦していこうと思っています」と語る。現在は絵葉書やアロマ、ポーリングなど、第二の人生を心から謳歌する 2 人の姿がここにある。

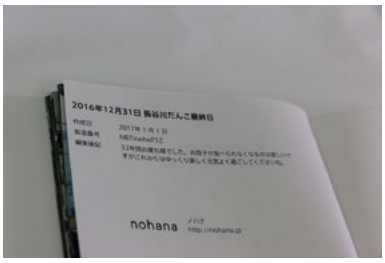
■同窓生が立ち上げた学童保育

長谷川だんごのあった建物は、現在、民間学童保育　放課後学習サポートセンター「ツクヨミ」として子どもたちの放課後の居場所になっている。学童保育を立ち上げたのは宮崎公立大学 8 期生の三好好枝さん（旧姓：原）。四方由美教授の研究補助員をつとめるなか「地域で子育てする」ことの重要性を感じた。しかし、宮崎には共働き家族をサポートする施設が少ないことに気づき、学童保育の立ち上げを決める。

三好さん自身も小学生の 3 人の子どもを育

左）お団子のイラストが印象的だった
右）第二の人生の楽しみになっているという絵葉書

長谷川だんごさんの
閉店を惜しんで
作成された冊子。



てる。毎日仕事と子育てを頑張るなかで、子どもたちの放課後の居場所や宿題に対して不安があった。さらに、宿題の丸つけといった学校から保護者に求められる事は多い。子ども達を叱りながら何とか就寝時間を迎える日々がバタバタと過ぎていく。「もっと子どもと笑顔で過ごす時間を増やせないものか。」ツクヨミの立ち上げを決めてから保護者へ聞き取りをしてみると、これらの悩みや思いは子育て中の親に共通していることがわかった。

三好さんは現在、精神保健福祉士として働きながら、ツクヨミが地域の資源として多くの家庭を支える役割を果たせるよう、また、子どもの権利を守る活動の発信拠点となるよう、研修や他の機関との連携を深める活動に邁進している。

そのツクヨミで現在、センター長を務めるのは福田朋実さん（12 期生 ）。宮崎公立大学卒業後に東洋大学大学院に進学し社会学を学んだ。博士課程修了後は、同大学の研究所に所属しながら公立大でも非常勤講師として教壇に立つ。宮崎に戻り感じたのが、東京では目にしていた子どもの放課後の安心・安全、家庭のサポートに対する選択肢の少なさだった。そんな時、ゼミの先輩だった三好さんと再会し、「家庭をサポートする」という考えに共感したことがツクヨミに関わるきっかけになった。何より「子どもが好き」ということもありセンター長を引き受けた。「子どもたちは、こちらが真剣に向き合うと応えようと頑張ったり行動したりする。こちらが想像した以上の成果を見せてくれる。毎日たくさんの発見があり、楽しいんです。」と語る。

■今でも笑顔咲く場所

同窓生が立ち上げたツクヨミ。自治体で運営される学童保育と異なる点は、各家庭のサポートを一番に考え、保護者と子ども両方の視点に立った“優しい”サービスを提供していることだ。宿題のサポートだけでなく、新聞記事のスクラップやスピーチ練習といったアクティブラーニングも導入している。学習以外でも、みんなでおやつを食べたり、レクレーションをしたり、和気あいあいとした時間を共有できる。また、預かり時間や曜日の調整も各家庭の生活スタイルに応じて可能。急な用事ができた時に利用できる「一時利用」や「夜８時まで預かり可能」といったシステムも多くの保護者に喜ばれている。

ツクヨミには放課後になると多くの子どもたちが集まる。子どもたちは学習したりおやつを食べたり本を読んだり、それぞれの楽しみ方で過ごす。取材中も、学校帰りの子どもたちが勢いよくドアを開けて「こんにちは先生！」と満面の笑顔で入ってきた。この場所は長谷川だんごがあったときから変わらない。今でもたくさんの笑顔を生み出す場所であり続けている。

TSUKUYOMI
PROJECT

ツクヨミのロゴマークには、地域が関わる子育てのあり方、そして、子どもの権利を守る活動にツクヨミが関わっていきたいという想いを込めて「ツクヨミプロジェクト」と表記されている。

かつて長谷川だんごの看板があった場所に「ツクヨミ」の看板が立っている

いろんなジャンルの本がズラリ

子どもたちが思い思いに描いたイラストたち

MRT ラジオ
『超・ドッキングラジオ』と
コラボしました！

2017 年 10 月 28 日（土）、同窓会凌雲なな会設立 20 周年記念イベント「Ｒａｄｉｏでホームカミングデイ」を開催しました。

キャンパスに来ることができない人でもホームカミングデイに参加してもらえるようにと、7 階ラウンジに特設ブースを設けてのラジオ公開生放送！ラジオには馴染のある先生方にご登場いただいたほか、ＯＢのみなさんから大学時代の思い出話を投稿していただいたり、当日開催されていた凌雲祭のにぎわいをお伝えしたりと盛況のうちに終えることができました。凌雲なな会ＰＲの目的のもと、役員で凌雲祭に初出店もしましたよ！

そして夜にはエアラインホールに移動しての懇親会。初代 “ななたまご” を制作した 14 期生代表として山本義隆さんに開封式を行っていただきました。台風の悪天候にもかかわらず多くの方にお越しいただき、ありがとうございました！

OG が所属する
アカペラグループが
素敵な歌を披露♪

Welcome back to MMU!

ホームカミングデイ

一年に一度、MMU の卒業生そして先生たちが集う、凌雲なな会の一大イベント『ホームカミングデイ』！
今年は 10 月 27 日（土）に、懐かしのあのお店で開催します。どしどし参加してくださいね！
同日、東京支部でも懇親会を開催します。

宮崎公立大学同窓会凌雲なな会 2018年 総会・懇親会のお知らせ

■と　き　2018年10月27日（土） 凌雲祭と同日開催!!

■ところ　丸平2F（宮崎公立大学キャンパス北側）

■参加費　懇親会参加者は￥2,000

■参加申込方法
2018年10月12日（金）までに
会報に同封の申込ハガキを返送するか、
凌雲なな会HPの申込フォームよりお知らせください。

■タイムスケジュール
・受付　16時30分～
・総会　17時00分～17時30分
・懇親会　18時00分～

追加情報は凌雲なな会 HP（『凌雲なな会』で検索）や Facebook で随時お知らせいたします。Facebook グループに参加されていない方はコチラからどうぞ。

宮崎本部　　東京支部

※承認制です。「グループに参加」をクリック！

◆お問い合わせ先
宮崎公立大学同窓会凌雲なな会事務局
TEL 0985-20-4844
Mail dousoukai@miyazaki-mu.ac.jp

宮崎会場の「やきとり丸平」

大いに盛り上がった
20 周年グッズの抽選会！

似顔絵師さんに
来ていただきました！

最後はみんなで記念撮影！
アットホームな時間と
なりました

東京支部だより

東京支部は 4 月 14 日（土）に第 3 回目となるお花見企画を催しました。今年はあいにく桜が早咲きで、肝心の桜は無く、おまけに天候にも恵まれずと散々でしたが、それでも 13 名の卒業生にご参加頂きました。

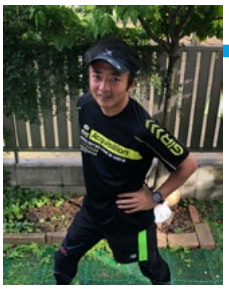
積もる話は尽きることなく、なんと開催は 12 時～ 23 時までと 11 時間の長丁場となりました。新宿・歌舞伎町一番街が、まさかの“宮崎一番街”のような光景に思えて、安心感さえ覚えました。

公立大の卒業生は、多方面の分野で、それぞれ個性豊かにご活躍されています。他業種の話を聞くだけでも刺激を受けますが、同じ学舎の仲間が頑張っている姿に感銘を受け、更なるパワーも頂き、毎回明日への活力となります。

関東在住のＯＢ・ＯＧの皆さん、ぜひお花見やホームカミングデイにご参加ください。役員一同、心よりお待ちしております。

東京支部長　染矢　信仁　mmu.tokyo@gmail.com

同窓生&先生 NOW!!



ひとつひとつの経験が、私を成長させてくれた　[1 期生　鈴木 圭さん]

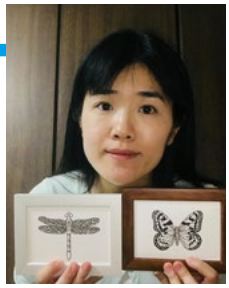
お客さまと触れ合う仕事がしたい、大学生だった私はそのように思い、この仕事を選びました。

公立大の目の前に、チキン南蛮の美味しい小さな喫茶店がありました。その店名はトレビアン。その店でのアルバイト時代に、接客する喜びを覚えました。

大学では、戸髙教授のもと英語音声学を専攻し、日々英語漬けの毎日でした。将来は英語を生かせる仕事に就こうと考えました。

大学を卒業して、20 年が経ちました。西武グループへ入社し、様々な業務経験を経て今日に至ります。ホテルでの接客に始まり、法人営業、新規ゴルフ場のオープン、営業企画、経理、財務、そして現在、西武ホールディングスで監査・内部統制部に在籍し、監査を行っています。接客する喜び、英語力など、大学時代の経験が様々な場面で活かされています。

その経験　いつかどこかで　生きてくる　[9 期生　新盛 由佳さん]



大学卒業後は社会労務士事務所、(財) 宮崎県環境科学協会の臨時職員、宮崎県赤十字血液センターの嘱託職員、(有) 西澤養蜂場での勤務を経て、2016 年の春から、趣味である切り絵を作品として販売することを目標に、日々創作活動に専念しています。

私にとっての大学での思い出は、SVC(手話ボランティアサークル) での活動、特に献血推進活動が大部分を占め、九州の大学生との交流や献血キャンペーンの呼びかけなどの活動を行ってきました。社会人になってから、2 年程ですが宮崎県赤十字血液センターに勤務することになった時は「これも何かのご縁かな」としみじみしたものです。

大学時代で得た大小様々な経験や「やってみよう」という気持ちは、いつの日か何らかの形で生きてくる、そしてそれは無駄にならないと思っています。その気持ちを胸に作品製作に取り組み、作品の幅を広げていきたいです。

『学び続ける』　井田 志乃 助教 [専門：メディア・デザイン]

凌雲なな会の皆さん、こんにちは。私は、2016 年 4 月に宮崎公立大学に着任し、教員としての生活がはじまりました。研究対象はメディア・デザインで、宮崎公立大学ではデザイン関連の科目と情報関連の科目を担当しています。

2018 年 5 月に経済産業省と特許庁がデザインを主題とした政策提言である「デザイン経営宣言」を発表しました。世の中には、人文学部でデザインを学ぶことを不思議に思う方もいらっしゃるかもしれません。しかし、デザインが注目されている今だからこそ、教養としてデザインの知識を学修し、さまざまな製品やサービスを利用するユーザーとしてもデザインリテラシーを獲得する意義があるのではないかと思っています。

デザインの領域は時代とともに変動し、私自身も「デザインとは何か」を考え続けています。さらに、専門演習をはじめとする担当講義では、学生の皆さんからも日々多くのことを学んでいます。これからも、皆さんと一緒に学び続けていきたいと思います。

井田先生オススメの書籍

『誰のためのデザイン？ 認知科学者のデザイン原論』　著／ D.A. ノーマン　訳／野島 久雄　[新曜社　1990 年]

『デザイン思考が世界を変える イノベーションを導く新しい考え方』　著／ティム・ブラウン　訳／千葉 敏生　[早川書房　2014 年]

『デザインマネジメント』　著／田子 學、田子 裕子、橋口 寛　[日経 BP　2014 年]

『融けるデザイン ハード × ソフト × ネット時代の新たな設計論』　著／渡邊 恵太　[ビー・エヌ・エヌ新社　2015 年]

『観察の練習』　著／菅 俊一　[NUMABOOKS　2017 年]

大学を去られた先生方[2018 年 7 月 31 日現在]

○田縁 正治 教授　○久保 和華 准教授(2017 年 11 月 16 日ご逝去)

今年もあの季節がやって来る！
ヤア！ヤア！ヤア！

凌雲祭 2018

日程　10月27日（土）、28日（日）
テーマ《LINK～繋げようみんなの笑顔～》

今年の凌雲祭は開催第26回目となり、昨年度にも増して、日頃お世話になっている地域の方々に十分に楽しんでいただき、学生にとっても活気のある学園祭にしたいと考えています。同窓会の皆様のご支援あっての凌雲祭でもありますので、多くの卒業生の方々に是非足を運んで楽しんでいただきたいと思います。昨年度は台風という災難に見舞われましたが、そういった困難も乗り越え、学生一丸となり盛り上げていきます。どうぞよろしくお願いします。

凌雲祭実行委員長　大橋　志織

平成最後のキャンペーン 凌雲なな会 PRESENTS!

クイズに答えて賞品GET

抽選で当たる豪華賞品！

問題　「凌雲祭 2018 のテーマは !?」

○○○○

～繋げようみんなの笑顔～

1等
ギフトカード
5,000円分
1名様

2等
ギフトカード
3,000円分
3名様

ひむかかるた
10名様

オリジナル デニム トート
5名様

※写真はイメージです

■回答方法
会報に同封の総会・懇親会出欠返信用ハガキの所定の回答欄にクイズの答えをご記入のうえ、投函してください。
※出欠返信用ハガキ以外での回答は抽選対象外となります。

■応募期間
2018年10月12日（金）まで　※当日消印有効

宮崎公立大学同窓会
凌雲なな会

『私たちが
なな会の役員です』

戸髙　淳考［1 期生］
玉木ゼミ 広告計画論演習

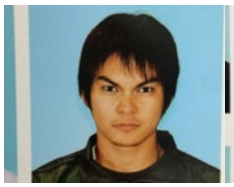
山口　充修［2 期生］
田中ゼミ 国際関係論演習

小林　元気［6 期生］
中別府ゼミ 宗教学演習

染矢　信仁［5 期生］
四方ゼミ
マスコミとジェンダー演習

田中　博［2 期生］
奥野ゼミ 考古学演習

小山　夕貴子［4 期生］
奥野ゼミ 考古学演習



須賀　貴宏［6 期生］
川瀬ゼミ 社会心理学演習

牧　竜［7 期生］
玉木ゼミ 広告計画論演習

小松　飛香里［10 期生］
川瀬ゼミ 社会心理学演習

木前　謙司［10 期生］
川瀬ゼミ 社会心理学演習

熊本　幸訓［11 期生］
新井ゼミ メディア論演習

黒木　裕太郎［12 期生］
新井ゼミ メディア論演習

倉本　恵理子［12 期生］
山口ゼミ 政治学演習

後藤　慎市郎［13 期生］
梅津ゼミ メディア論演習

田中　常丸［13 期生］
東ゼミ 文化人類学演習

山本　晃子［13 期生］
森津ゼミ 広告計画論

平井　美幸［14 期生］
広瀬ゼミ 国際法演習

新村　拓也［15 期生］
堀口ゼミ
国際協力・地域経済演習

深水　純一郎［15 期生］
山口ゼミ 政治学演習

堀田　啓太［16 期生］
四方ゼミ
メディアとジェンダー演習

山本　麻育子［19 期生］
倉ゼミ 社会心理学演習

大野　秀起［20 期生］
住岡ゼミ 教育学演習

野邊　樹［22 期生］
山口ゼミ 政治学演習

小林　茉央［22 期生］
田村ゼミ 国際法演習

河野 瑞紀［18 期生］
渡邊ゼミ 日本文学演習

社会人 3 年目、人生の転機が訪れました。

ありがちなフレーズですが、私にもその時が来ました。美容室のレセプショニストとして 5 年目を迎えました、18 期生の河野瑞紀です。

社会人 3 年目というと、周りからの評価も少し厳しくなるし、後輩もできて自分のことばかりに注力できない、さて、どうしたものかと悩む方も少なくないのではないかと思います。私も同じように、自分がこれからどうしていきたいのか、悶々とする日々が続いていました。そんな時、会社が委託するメイク講師との出逢いで、私の人生は大きく変わりました。

宮崎で働きながら、月 1 で福岡のメイク学校に通うという決断をして約 2 年。先日ようやく卒業することができました。仕事で活かせたらいいなと思って始めたことでしたが、勉強する度に自分にも還元できる技術を身に着けることができ、自分に自信のもてる女性に成長できたのではないかと思います。これからも色々な転機があると思いますが、常に前のめりで頑張れる人でありたいです。

宮崎公立大学同窓会「凌雲なな会」会報誌
NaNaKai
発行／宮崎公立大学同窓会「凌雲なな会」 〒880-0031 宮崎市船塚 1 丁目 1-2（凌雲会館内）
TEL.0985-20-4844 FAX.0985-20-4845 E-mail : dousoukai@miyazaki-mu.ac.jp URL : http://www.nanakai.jp/
制作・印刷／株式会社 宮崎南印刷